

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : **アクア・フレッシュ A・CII**
 会社名 : 富士薬品工業株式会社
 住 所 : 東京都港区麻布台1-3-12
 担当部門 : 技術管理室 作成者 : 小菅勇治
 電話番号 : 03-3582-8771 FAX番号 : 03-3582-8774
 緊急連絡先 : 東京都練馬区豊玉北3-14-10 (営業本部)
 : 大阪府吹田市豊津町22-1 (大阪営業所)
 電話番号 : 03-3557-6201 (営業本部)、06-6384-1351 (大阪営業所)
 作成 : 2012年8月10日 改訂 : 2016年4月9日
 用途と使用上の制限 :
 整理番号 :

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

引火性液体	: 区分3
急性毒性 (経口)	: 区分外
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入:蒸気)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分2
皮膚感作性	: 区分1
生殖毒性	: 区分1
特定標的臓器・全身毒性	: (単回ばく露) 区分1 (血液) 区分2 (眼) 区分3 (麻酔作用、気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性	: (反復ばく露) 区分1 (血液、眼、鼻) 区分2 (肝臓、精巣)
吸引性呼吸器有害性	: 区分1
水性環境急性有害性	: 区分1
水性環境慢性有害性	: 区分1

【ラベル要素】



注意喚起語：危険

【危険有害性情報】

引火性液体および蒸気

皮膚刺激

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

血液の障害

眼障害のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期または反復暴露による血液、眼、鼻の障害

長期または反復暴露による肝臓、精巣の障害のおそれ

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書

予防策：容器を密栓しておくこと。

：熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙

：保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。

：容器および受器を設置すること。

：防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／...機器を使用すること

：静電気放電に対する予防措置を講ずること。

：火災を発生しない工具を使用すること。

：保護手袋を着用すること。

：取扱い後はよく手を洗うこと。

：保護眼鏡、保護面を着用すること。

：汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

：すべての安全事項を読み理解するまで取り扱わないこと。

：粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／ スプレーの吸入しないこと。

：この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

：野外または換気の場所にみで使用すること。

：環境への放出を避けること。

対応：火災の場合は消火に（製造者／供給者または規制所管官庁が指定する適切な手段）を使用すること。

アクアフレッシュ ACII

- : 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。
- : 皮膚（または毛）にかかった場合、直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐこと / 取り除くこと。
- : 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- : 皮膚についている場合、多量の水と石けんで洗うこと。
- : 汚染された衣服を再使用する場合は洗濯すること。
- : 皮膚に刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。
- : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- : 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。
- : 取り扱った後、手を洗うこと。
- : 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断／手当を受けること。
- : 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
- : 飲み込んだ場合直ちに医師に連絡すること。吐かせないこと。
- : 漏出物を回収すること

3. 組成、成分情報

単一製品・混合製品の区別：混合物

化学名：石油系炭化水素混合物

成分名	含有量[%]	官報整理番号	CAS No.	備考
芳香族炭化水素混合物	42～46	9-2578	64742-95-6	皮膚腐食性／刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性 ／刺激性 区分2A 皮膚感作性 区分1 特定標的臓器・全身毒性 (単回、反復) 区分1 吸引性呼吸器有害性 区分1
石油系炭化水素	49～53	登録染み	登録済み	皮膚腐食性／刺激性 区分2 特定標的臓器・全身毒性 (単回) 区分3 特定標的臓器・全身毒性 (反復) 区分2 吸引性呼吸器有害性 区分1
界面活性剤	4～6	登録染み	登録済み	急性毒性(経口) 区分4 眼に対する重篤な損傷性 ／刺激性 区分2B 生殖毒性 区分1A 特定標的臓器・全身毒性 (単回、反復) 区分2

4. 応急措置

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

皮膚に付着した場合：汚染された衣服を脱ぐこと。皮膚を速やかに多量の水と石けんで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合や、気分が悪い時は医師の診断、手当てを受ける。脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。

目に入った場合：コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。水で数分間、注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、医師の手当てを受けること。口の中が汚染されている場合は、水で十分洗う。

5. 火災時の措置

消火方法：次の消火剤を用いて消火する。

消火剤：二酸化炭素、粉末消火剤、泡

6. 漏出時の処置

付近の着火源となるものを速やかに取り除く。作業の際は防護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

大量の流出は、土砂等で拡大防止を図り回収する。少量の場合は、乾燥砂、不活性吸収剤等に吸収させる。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：熱源、火花、裸火との接触禁止。蒸気の吸入を避ける。

電気対策を講じること。防爆工具の使用。目、皮膚、衣服との接触を避ける。適切な防護具を着用する。換気に注意。

保管：密栓して冷暗所に保管する。火気厳禁。

8. 暴露防止措置

管理濃度：設定されていない

許容濃度：ACGIH TWA 25ppm（トリメチルベンゼン）、50ppm（クメン）

100ppm（キシレン）、10ppm（ナフタレン）

20ppm（エチルベンゼン、トルエン）

設備対策：発生源の密閉化又は局所排気装置の設置。洗眼器、安全シャワー等の設置。

保護具：呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面等

9. 物理／化学的性質

外観等：透明液体

沸点：データなし 蒸気圧：データなし 揮発性：データなし

融点：データなし 比重又は嵩比重データ：データなし

溶解度水：不可 その他：

10. 危険性情報（安定性・反応性）

引火点：42℃（芳香族炭化水素混合物） 発火点：データなし

爆発限界：データなし

可燃性：消防法危険物第4類第2石油類に該当

発火性：（自己発火性・水との反応性）：データなし・水とは反応しない

酸化性：データなし

自己反応性・爆発性：データなし

粉塵爆発性：なし

安定性・反応性：通常の保管においては安定である。

その他：燃焼の際は一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

1 1. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性・刺激性：皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性／刺激性：強い眼刺激

感作性：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

急性毒性（50%致死量等を含む）：経口（ラット） LD₅₀ >5000mg/Kg

亜急性毒性：データなし

慢性毒性：データなし

がん原生：データなし

変異原生（微生物、染色体異常）：知見なし

生殖毒性：生殖能または胎児への悪影響のおそれ

催奇形性：知見なし

その他（水と反応して有毒なガスを発生する等を含む）：なし

1 2. 環境影響情報

分解性：データなし

蓄積性：データなし

魚毒性：水生生物に非常に強い毒性

その他：

1 3. 廃棄上の注意

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

焼却炉等の安全な場所で少量ずつ焼却処分する。

1 4. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。火気厳禁。

国連分類及び国連番号：クラス3 等級III 1993

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法：該当せず

消防法：危険物第4類第2石油類非水溶性液体

労働安全衛生法：名称を表示すべき有害物質

トルエン、トリメチルベンゼン、クメン、ノナン、キシレン、
エチルベンゼン、ナフタレン

施行令第18条の2別表第9の407、404、138、432、
136、70、408

：名称等を通知すべき危険物及有害物

アグアフレッシュ ACII

トルエン、トリメチルベンゼン、クメン、ノナン、キシレン、
エチルベンゼン、ナフタレン

化学物質管理促進法（PRTR 法）：第 1 種指定化学物質含有

16. その他の情報

危険有害性の評価は必ずしも十分でないので、取り扱いには十分注意して下さい。